

重要文化財勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理工事

概要 要: 富山県高岡市の勝興寺において保存修理工事に合わせ耐震補強を実施していたことで、令和6年能登半島地震において震度5強を観測したが、建物の仕上げ材の破損等の軽微な被害にとどまり、多くの建物で被害が生じなかった。

府省庁名: 文化庁

- 実施主体: 勝興寺
- 実施場所: 富山県高岡市
- 事業概要: 勝興寺の大広間及び式台ほか11棟について、破損の程度の応じて解体修理、半解体修理、屋根葺替部分修理を行うとともに耐震補強を実施した。
- 事業費: 約52億円
- 事業年度: H17年～R2年
- 被害概要及び効果

<被害概要>

令和6年能登半島地震において、高岡市では震度5強を観測し、半壊、大規模半壊等の建物被害が146件発生した。(令和6年5月10日時点、一般建築含む)

<効果>

勝興寺では、保存修理工事の中で、鉄骨フレームによる補強、合板による補強など建物毎に耐震補強を実施していたことにより、被害なしか、一部の建物の仕上げ材の破損等の軽微な被害にとどまり、多くの建物の被害規模を大きく抑えることができた。



国宝大広間及び式台: 外観



重要文化財宝蔵: 外観



国宝大広間及び式台: 鉄骨フレームによる補強の結果、被害なし



重要文化財宝蔵: 壁、床の合板補強を実施した結果、外壁漆喰のひび割れのための被害にとどまる